

「令和 7 年度情報サービス産業におけるアジャイル開発に関する調査」票

■ ご回答にあたって ■

【調査の目的】

情報サービス産業におけるアジャイル開発の活用度合いや浸透の実態、推進上の課題などを定量的に把握するために実施します。

【調査の対象】

会員企業のエンジニア

- ・プロジェクトマネージャ、プロジェクトリーダー、チームリーダーのほか、システムエンジニア、プログラマの方等を対象とします。
- ※アジャイル開発の経験は問いません。

【回答要領】

・本調査はエンジニア「個人」に対する調査です。各企業を代表して回答する調査ではありません。

多くの方のご回答をお待ちしております。

注 1) 調査参加企業としての社名が JISA より公表されることはございません。

注 2) JISA において個別企業に関する分析をすることはございません。

- ・ご回答には 10 分程度のお時間をいただきます。

【調査実施期間】

令和 8 年 1 月 9 日(金)から令和 8 年 2 月 6 日(金)まで

【問い合わせ先】

本件に関しまして、ご不明な点ご質問等ございましたら下記までお問い合わせください。

JISA アジャイル開発グループ事務局 担当：鈴木

TEL：03(5289)7651 EMAIL：rsuzuki@jisa.or.jp

(1) 勤務先企業名

--

(I-1) 役職：あなたの役職を選択してください。 **【必須】**

(I-1) 役職：あなたの役職を選択してください。 **【必須】**

- () 1. 役員
() 2. 部門長
() 3. マネージャ、リーダー
() 4. 技術職、コンサルタント
() 5. その他（具体的に：_____）

- () 1. マーケティング
- () 2. セールス
- () 3. コンサルタント
- () 4. ITアーキテクト
- () 5. プロジェクトマネジメント
- () 6. ITスペシャリスト
- () 7. アプリケーションスペシャリスト
- () 8. ソフトウェアデベロップメント
- () 9. カスタマサービス
- () 10. ITサービスマネジメント
- () 11. エデュケーション
- () 12. その他（具体的に：

- () 1. 社内向け
() 2. お客様向けカスタム
() 3. パッケージ
() 4. 自社製品への組み込み用
() 5. お客様製品への組み込み用
() 6. その他（具体的に：

Ⅱ. アジャイル開発についてお尋ねします。

(Ⅱ-1) 情報収集：過去6カ月の間に、あなたが行ったアジャイル開発に関する情報収集として、当てはまるものをいくつでも選択してください。【必須】

- ☐ 1. アジャイルに関する研修／セミナーを受講した
- ☐ 2. アジャイルに関するイベントなどに参加した
- ☐ 3. アジャイルに関する書籍などを読んだ
- ☐ 4. アジャイルに関する記事をインターネットなどで読んだ
- ☐ 5. 特に何もしていない

(Ⅱ-2) アジャイルの導入状況・成熟度：

あなたが所属する組織における、アジャイルの導入状況・成熟度について、もっとも当てはまるものを1つだけ選択してください。【必須】

- ☐ 1. アジャイルの実践により、組織の適応性が向上している
- ☐ 2. アジャイルの導入に関する指標が管理され、測定されている
- ☐ 3. アジャイルの導入が、組織的な取り組みになりつつある
- ☐ 4. アジャイルの導入が、特定のプロジェクトチームでのみ行われている
- ☐ 5. 場当たり的に行われており、効果は不十分
- ☐ 6. アジャイルの導入・推進は行われていない
- ☐ 7. わからない

(Ⅱ-3) 経験：あなたのアジャイル開発手法の経験としてもっとも当てはまるものを、1つだけ選択してください。【必須】

- ☐ 1. 1年未満
- ☐ 2. 1年
- ☐ 3. 2年
- ☐ 4. 3年以上
- ☐ 5. アジャイル開発の経験はない

1～4を選択した方はⅢの質問へ、5を選択した方はⅣの質問に進んでください。

Ⅲ. アジャイル開発の経験がある方にお尋ねします。

(Ⅲ-1) アジャイル開発手法を導入したプロジェクト数:

あなたが関与したプロジェクトで、アジャイル開発手法を導入したプロジェクト数を数字でご記入ください。【必須】

例) 10 個 \rightarrow 10

--

以下の質問では、あなたが関与したアジャイル開発プロジェクトでもっとも代表的なものを選んでご回答ください。

(Ⅲ-2) アジャイル開発プロジェクトにおける役割： **【必須】**

あなたが果たした最も代表的な役割を1つだけ選択してください。

- () 1. プロダクトオーナー/プロダクトマネージャー
() 2. 開発者
() 3. スクラムマスター
() 4. プロジェクトマネージャー
() 5. UI or UX デザイナー
() 6. QA
() 7. アジャイルコーチ
() 8. その他（具体的に：_____）

(Ⅲ-3) アジャイル開発手法を導入したきっかけ：【必須】

プロジェクトでアジャイル開発手法を導入したきっかけについて、当てはまるものをいくつかも選択してください。

- () 1. 開発チームが自主的に判断し導入
() 2. 経営層や上司からのトップダウンでの指示
() 3. スポンサーや発注先からの指示
() 4. セミナーなどで興味をもったから
() 5. 競合他社との兼ね合い
() 6. その他（具体的に： ）

(III-4)

(a) プロジェクトで導入したアジャイル開発プラクティスについて、当てはまるものをいくつでも選択してください。

※ プラクティスの内容については、以下のガイドを参考にしてください。
IPA アジャイル型開発におけるプラクティス活用 リファレンスガイド(Word)
<http://www.ipa.go.jp/archive/files/000029120.doc>

		導入している	効果があった
1	ベロシティ		
2	バーンアップチャート		
3	バーンダウンチャート		
4	スプリントレビュー		
5	レトロスペクティブ（ふりかえり）		
6	リリース計画		
7	イテレーション計画		
8	朝会（昼会、夕会なども）		
9	アジャイルコーチ		

1 0	インセプションデッキ		
1 1	ストーリーポイント		
1 2	タスクボード（かんばん）		
1 3	ユーザーストーリーマッピング		
1 4	プランニングポーカー		
1 5	プロダクトバックログ		

(b) プロジェクトで導入したエンジニアリングプラクティスについて、当てはまるものをいくつでも選択してください。

		導入している	効果があった
1	テスト駆動開発		
2	ペアプログラミング		
3	リファクタリング		
4	継続的インテグレーション		
5	ユニットテスト自動化		
6	ビルド自動化		
7	受け入れテスト自動化		
8	モブプログラミング		
9	コーディング標準		

(Ⅲ-5) アジャイル開発に期待するもの、効果があったもの：

プロジェクトで、アジャイル開発に期待するもの、効果があったものについて、それぞれ当てはまるものを全て選択してください。

		期待する	効果があった
1	変更対応（仕様、環境など）への柔軟性		
2	納期短縮		
3	コスト削減		
4	システム品質向上		
5	開発生産性向上		
6	無駄なものを作らない		
7	ビジネス価値創造		
8	顧客満足度向上		
9	開発者のモチベーションアップ		
1 0	チームの成熟度向上		
1 1	開発プロセス改善		
1 2	収益向上		
1 3	プロジェクトのリスク削減		
1 4	プロジェクトの可視性向上		

(Ⅲ-6) アジャイル開発を評価するメトリクス：

プロジェクトで、アジャイル開発を評価したメトリクスについて、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- () 1. スケジュールの予実
- () 2. コストの予実
- () 3. 品質（障害件数など）の予実
- () 4. 顧客満足度
- () 5. ベロシティ
- () 6. デプロイの頻度
- () 7. 変更のリードタイム
- () 8. 変更失敗率
- () 9. デプロイ失敗時の復元までの時間
- () 10. その他（具体的に：

(Ⅲ-7) ビジネス価値の評価：【必須】

プロジェクトで、ビジネス価値を評価しましたか。

- () 1. 評価した
() 2. 評価していない

(Ⅲ-8) (Ⅲ-7)で「1. 評価した」とお答えした方にお尋ねします。【必須】

どのような評価方法を採用しているかご記入ください。

例) 売上高、利用者数など

()

(Ⅲ-9) アジャイル開発で難しいと感じた点：

プロジェクトで、アジャイル開発で難しいと感じた点について、当てはまるものをいくつでも選択してください。

- () 1. お客様の理解と協力
- () 2. 契約形態
- () 3. 人材、スキル
- () 4. 開発ツールやインフラ環境
- () 5. 社内の理解と協力
- () 6. 目標設定と人事評価
- () 7. 上司の理解と協力
- () 8. 品質の評価
- () 9. 進捗の評価
- () 10. その他（具体的に：

(Ⅲ-10) アジャイル導入の際に、準備して役に立ったと思うことはなんですか。当てはまるものをいくつかも選択してください。

- () 1. 勉強会の実施
- () 2. アジャイル**研修への参加**
- () 3. 利害関係者との認識合わせ (WaterFall との違い、Why Agile? 等)
- () 4. 方向付け (インセプションデッキ等)
- () 5. 運営ルール (ワーキングアグリーメント等)
- () 6. プロジェクトルーム (物理的なモブプロスペース、オンライン上の集合場所 等)
- () 7. アジャイルコーチ
- () 8. その他 (具体的に：)

(Ⅲ-11) アジャイル開発を行う過程において、独自に工夫したこと、役立ったことがあれば差し支えない範囲で構いませんので記載ください。(システムの品質向上、各プラクティスの効率化、ステークホルダーや外部との関係性強化など大小含めた各種課題への対応) (自由記述)

(Ⅲ-12) 生成 AI の活用：

生成 AI をアジャイル開発に導入している方にお伺いします。生成 AI 導入後、アジャイル開発をするうえで変わったことはありますか？ 差し支えない範囲で構いませんので記載ください。

(自由記述)

(Ⅲ-13) コミュニティでの活動：

あなたは社内外のアジャイルコミュニティで活動していますか？ **【必須】**

- () 1. 活動している
() 2. 活動していない

(Ⅲ-14) アジャイル開発を薦める可能性：

あなたがアジャイル開発を友人や同僚に薦める可能性についてもっとも当てはまるものを、1つだけ選択してください。【必須】

薦める可能性はまったくない

薦める可能性は極めて高い

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

IV. アジャイル開発の経験はない方にお尋ねします。

(IV-1) アジャイル開発の導入について：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイルを導入しようと考えていますか？ **【必須】**

- () 1. はい
() 2. いいえ
() 3. どちらとも言えない
() 4. その他 (具体的に:)

(IV-2) アジャイル開発に期待するもの：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発に期待するものについて、当てはまるものを全て選択してください。【必須】

- () 1. 変更対応（仕様、環境など）への柔軟性
- () 2. 納期短縮
- () 3. コスト削減
- () 4. システム品質向上
- () 5. 開発生産性向上
- () 6. 無駄なものを作らない
- () 7. ビジネス価値創造
- () 8. 顧客満足度向上
- () 9. 開発者のモチベーションアップ
- () 10. チームの成熟度向上
- () 11. 開発プロセス改善
- () 12. 収益向上
- () 13. プロジェクトのリスク削減
- () 14. プロジェクトの可視性向上
- () 15. その他（具体的に：_____）

(IV-3) アジャイル開発導入にあたっての問題点：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発導入にあたっての問題点について、当てはまるものを全て選択してください。 **【必須】**

- () 1. 人材
() 2. 発注、受注の契約形態
() 3. 組織の制約
() 4. その他（具体的に：_____）

(IV-4) アジャイル開発を導入しない理由：

あなたが関与するプロジェクトで、アジャイル開発を導入しない理由について、当てはまるもの

() 1. 導入するメリットが明確になっていない
() 2. 導入できる人材がいない
() 3. 現在の開発プロセスで問題を感じていない
() 4. 導入時のデメリットが明確になっていない
() 5. 導入しなくても解決できる
() 6. その他（具体的に：_____）

(V-1) アンケート回答者向けの無料セミナーを予定しております。どのようなイベントを希望しますか。

- () 1. 有識者の講演を聴きたい
() 2. ワークショップに参加したい
() 3. 特になし
() 4. その他（具体的に：_____）

(VI-1) 全体を通してのご意見（自由記述）：

()

7